

平成20年3月期 第1四半期財務・業績の概況

平成 19年 8月 2日

上場会社名 株式会社 ダイヘン 上場取引所 東証一部・大証一部・福証
 コード番号 6622 URL <http://www.daihen.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 柳 生 勝
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 総合企画室経理部長 (氏名) 河 本 憲 二 TEL (06) 6390-5506

(百万円未満切捨て)

1. 平成 20年 3月期第1四半期の連結業績 (平成 19年 4月 1日～平成 19年 6月 30日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売 上 高		営 業 利 益		経 常 利 益		四半期(当期) 純 利 益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年3月期第1四半期	24,936	18.2	2,671	15.8	2,856	19.2	1,678	24.6
19年3月期第1四半期	21,100	10.9	2,306	85.1	2,396	85.5	1,347	166.1
19年 3月期	95,687		8,973		9,346		6,145	

	1株当たり四半期 (当期)純利益		潜在株式調整後 1株当たり四半期 (当期)純利益	
	円	銭	円	銭
20年3月期第1四半期	12	63	—	—
19年3月期第1四半期	10	13	—	—
19年 3月期	46	22	—	—

(2) 連結財政状態

	総 資 産		純 資 産		自 己 資 本 比 率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
20年3月期第1四半期	95,820		46,360		46.2	332	99	
19年3月期第1四半期	88,706		39,272		42.1	281	13	
19年 3月期	95,028		44,731		44.9	321	11	

2. 配当の状況

	1株当たり配当金
(基準日)	第1四半期末
	円 銭
19年3月期第1四半期	_____
20年3月期第1四半期	_____

3. 平成20年3月期の連結業績予想(平成19年4月1日～平成20年3月31日) 【参考】

(%表示は、通期は対前期、中間期は対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
中間期	50,000	15.1	4,400	8.3	4,400	2.5	2,650	△48.2	19	94
通期	100,000	4.5	9,000	0.3	9,000	△3.7	5,400	△12.1	40	63

※ 平成19年5月10日に公表いたしました業績予想は、中間期・通期ともに変更はありません。

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
- (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無

[(注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。]

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期のわが国経済は、好調な企業収益を背景に設備投資が増加するなど、景気は緩やかながらも増加基調で推移いたしました。

当社グループはこのような状況の下で、中期計画 - Challenge 1000 - における基本戦略「持続的成長軌道に乗る」に沿った諸施策を実践することで、各事業の業績の確保・向上にグループをあげて取り組んでまいりました。

その結果、東南アジア向けの電力機器製品並びに中国・東南アジア向けの溶接メカトロ製品の販売が好調に推移するなど海外売上高が増加したことに加え、メモリー分野を中心に半導体機器関連の設備投資が好調に推移したこともあり、売上高は249億3千6百万円と前年同期に比べ18.2%の増収となりました。

利益面につきましては売上高が増加したことに加え、コスト改善の効果もあり、営業利益は26億7千1百万円と前年同期に比べ3億6千5百万円の増益、当第1四半期の純利益も16億7千8百万円と前年同期に比べ3億3千1百万円の増益となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期末の総資産は958億2千万円と前連結会計年度末に比べ7億9千2百万円増加いたしました。純資産合計は463億6千万円となり、前連結会計年度末に比べ16億2千9百万円増加いたしました。

また、自己資本比率は前連結会計年度末の44.9%から1.3ポイント上昇し46.2%となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当第1四半期連結業績は概ね順調に推移いたしました。しかし、一部素材価格の高止まり並びに調達難などが懸念されるなど、今後の見通しには不透明感があります。

このような状況の下で、引き続きグループをあげて経営体質の強化、各事業の業績の確保・向上に取り組んでまいる所存です。

平成19年5月10日に公表いたしました業績予想は、中間期・通期ともに変更はありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用

(内容) 法人税等の計上基準 ... 法定実効税率をベースとした年間予測税率により計算しております。

その他影響額が僅少なものにつき、一部簡便的な手続きを用いております。

(3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更

該当事項はありません。

5. (要約)四半期連結財務諸表

(要約)四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

期別 科目	前第1四半期末 (平成18年6月30日現在)	当第1四半期末 (平成19年6月30日現在)	<参考> 前連結会計年度末 (平成19年3月31日現在)	対前連結 会計年度末 増減
[資産の部]				
流動資産	46,853	52,745	54,192	1,447
現金及び預金	5,381	5,767	7,072	1,304
受取手形及び売掛金	20,498	23,411	24,258	847
たな卸資産	17,907	19,574	19,225	349
繰延税金資産	1,758	2,123	2,087	35
その他	2,065	2,634	2,313	321
貸倒引当金	758	765	764	0
固定資産	41,852	43,075	40,835	2,239
有形固定資産	23,808	22,603	21,355	1,248
建物及び構築物	8,958	8,434	8,162	271
機械装置及び運搬具	4,783	5,125	5,101	24
工具・器具・備品	1,061	1,256	1,229	26
土地	8,468	6,248	6,234	13
建設仮勘定	535	1,539	627	911
無形固定資産	1,684	2,103	1,890	213
ソフトウェア	1,545	1,831	1,759	72
施設利用権他	138	272	131	141
投資その他の資産	16,360	18,367	17,589	778
投資有価証券	11,406	12,278	11,486	791
出資金・敷金	593	1,626	1,625	1
長期貸付金	286	342	344	1
長期前払費用	54	464	497	33
前払年金費用	2,788	3,061	3,061	—
繰延税金資産	1,100	461	441	19
その他	305	288	287	0
貸倒引当金	176	155	155	0
資産合計	88,706	95,820	95,028	792

(単位:百万円)

期 別 科 目	前第1四半期末 (平成18年6月30日現在)	当第1四半期末 (平成19年6月30日現在)	<参 考> 前連結会計年度末 (平成19年3月31日現在)	対前連結 会計年度末 増 減
[負債の部]				
流動負債	35,653	33,749	35,199	1,450
支払手形及び買掛金	16,445	19,979	18,923	1,056
短期借入金	9,592	4,734	4,328	405
1年以内返済予定長期借入金	4,799	1,830	1,937	106
1年以内償還社債	350	530	530	—
未払法人税等	1,177	1,610	2,722	1,111
賞与引当金	919	929	1,910	980
固定資産撤去損失引当金	—	1,111	1,111	—
その他	2,369	3,022	3,736	713
固定負債	13,780	15,710	15,097	613
社債	3,590	1,990	1,490	500
長期借入金	7,270	9,937	9,827	110
繰延税金負債	13	1,021	844	176
退職給付引当金	2,076	1,751	2,042	291
負債のれん	8	12	13	0
その他	822	997	879	118
負債合計	49,434	49,459	50,296	837
[純資産の部]				
株主資本	34,406	39,938	39,216	722
資本金	10,596	10,596	10,596	—
資本剰余金	10,026	10,027	10,027	—
利益剰余金	14,166	19,761	19,019	742
自己株式	383	446	426	20
評価・換算差額等	2,975	4,308	3,460	847
その他有価証券評価差額金	2,259	2,899	2,325	573
繰延ヘッジ損益	4	0	0	—
為替換算調整勘定	720	1,408	1,134	274
少数株主持分	1,890	2,114	2,054	59
純資産合計	39,272	46,360	44,731	1,629
負債純資産合計	88,706	95,820	95,028	792

(要約)四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目 \ 期 別	前第1四半期 自平成18年4月1日 至平成18年6月30日	当第1四半期 自平成19年4月1日 至平成19年6月30日	増 減	<参 考> 前連結会計年度 自平成18年4月1日 至平成19年3月31日
売 上 高	21,100	24,936	3,835	95,687
売 上 原 価	13,376	16,248	2,871	62,570
売 上 総 利 益	7,723	8,687	964	33,116
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	5,417	6,016	598	24,142
営 業 利 益	2,306	2,671	365	8,973
営 業 外 収 益	(266)	(327)	(61)	(1,188)
受 取 利 息 及 び 配 当 金	63	77	13	128
持 分 法 に よ る 投 資 利 益	78	53	24	128
為 替 差 益	—	17	17	268
そ の 他	124	179	54	663
営 業 外 費 用	(176)	(142)	(33)	(816)
支 払 利 息	80	79	0	309
為 替 差 損	23	—	23	—
そ の 他	72	63	9	507
経 常 利 益	2,396	2,856	460	9,346
特 別 利 益	—	6	6	5,436
特 別 損 失	24	97	72	3,770
税金等調整前四半期(当期)純利益	2,372	2,766	394	11,011
法 人 税 等	960	1,001	40	4,641
少 数 株 主 利 益	64	86	21	224
四 半 期 (当 期) 純 利 益	1,347	1,678	331	6,145

セグメント情報

・事業の種類別セグメント情報

前第1四半期(自平成18年4月1日 至平成18年6月30日)

(単位: 百万円)

	電力機器事業	溶接機事業	半導体機器事業	計	消去又は全社	連結
売上高及び営業損益						
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	8,805	9,394	2,900	21,100	—	21,100
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	20	0	—	21	(21)	—
計	8,826	9,395	2,900	21,121	(21)	21,100
営業費用	7,918	7,566	2,857	18,342	452	18,794
営業利益	907	1,828	42	2,779	(473)	2,306

当第1四半期(自平成19年4月1日 至平成19年6月30日)

(単位: 百万円)

	電力機器事業	溶接機事業	半導体機器事業	計	消去又は全社	連結
売上高及び営業損益						
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	11,421	10,003	3,510	24,936	—	24,936
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	18	1	—	20	(20)	—
計	11,440	10,005	3,510	24,956	(20)	24,936
営業費用	10,413	8,185	3,231	21,830	434	22,265
営業利益	1,026	1,819	279	3,126	(454)	2,671

前連結会計年度(自平成18年4月1日 至平成19年3月31日)

(単位: 百万円)

	電力機器事業	溶接機事業	半導体機器事業	計	消去又は全社	連結
売上高及び営業損益						
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	43,353	38,621	13,712	95,687	—	95,687
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	75	20	—	96	(96)	—
計	43,429	38,641	13,712	95,783	(96)	95,687
営業費用	40,137	31,568	13,198	84,904	1,809	86,713
営業利益	3,291	7,073	514	10,879	(1,905)	8,973

(注) 1. 事業区分の方法は内部管理上採用している区分によっております。

2. 各事業の主な製品

- (1) 電力機器事業 : 各種変圧器、受配電設備、開閉器、監視制御システム等
- (2) 溶接機事業 : 電気溶接機、プラズマ切断機、産業用空気清浄機、産業用ロボット等
- (3) 半導体機器事業 : 高周波電源、クリーン搬送ロボット等

3. 営業費用のうち、消去又は全社の項目に含めた配賦不能営業費用の主なものは、提出会社の 本社の経理部等管理部門に係る費用であります。

前第1四半期	471百万円	当第1四半期	457百万円
前連結会計年度	1,896百万円		